

## ワークショップ7

### 「好酸球性消化管疾患の現状と課題」

司会 今枝 博之（埼玉医科大学消化管内科）

藤原 靖弘（大阪公立大学消化器内科学）

本邦でも好酸球性食道炎（EoE）の増加がみられ、好酸球性消化管疾患（EGID）が注目されている、2020年にガイドラインが発表されているが、病態の解明はまだ十分ではなく、病理組織学的問題点も指摘されている。EoEの難治例もまれにみられ、好酸球性胃腸炎（non-EoE EGID）ではステロイド依存例もみられ、新規治療法が期待されている。本セッションではEGID診療の現状と今後の課題について活発な討論を期待します。